

けいひん薬局かわら版

「塗り薬の上手な使い方」



<塗り薬の種類>

塗り薬とは、皮膚に直接薬を塗ることで、炎症(化膿・湿疹・痛みなど)を抑えるお薬です。いくつか種類がありますので、それぞれ特徴を少しご紹介します。

軟膏	刺激性がほとんどないため、傷がある場合や乾燥を防ぐ目的で使用されることが多いです。質感は、べとべとした肌触りです。
クリーム	軟膏よりも刺激性が強いため、傷のない部分や広範囲に使用する場合など使用されます。質感は、軟膏よりもサラサラした肌触りです。
ローション	広範囲に使用したい場合や、頭皮のかゆみなどに使用されます。クリームよりもサラサラとした乳液のような肌触りです。
スプレー	背中など、手の届かないところにもスプレーできます。
フォーム	泡状タイプなので、液だれしにくく、広範囲に使用できます。

<塗り薬が2種類以上出た場合の順番は？>



例えば、保湿剤とステロイド剤の2種類が出たけど、医師から特に指示がなかった場合、どちらを先に塗ればよいのでしょうか？
答えは、どちらを先に塗っても、効果に違いはありません。

一般的に、先に保湿剤を塗り、後からステロイド剤を塗ったほうが、ステロイドが広範囲に広がらないのでよいともいわれています。症状によりしますので、不安な場合は、医師に聞いてみましょう。



<塗り薬の適量とは？>

軟膏・クリーム:人差し指の第一関節まで(チューブの先端口でも異なる)



ローション:1円玉大



手のひらの面積2枚分

保湿剤は、塗ってみて、少しテカテカする感じが適量です。また、ティッシュペーパーを1枚くっつけてみて逆さにしても、落ちずにくっつく程度が効果的な量と言われています。試してみましょう。

